

系列活動を基盤とした自己肯定感を高めるための生徒会活動
～行事のとりくみを通して～

1. 設定理由

学校での集団活動は、他者との関わりの中で自己を磨くことのできる、人間にとって欠くことのできない成長の場である。生徒にとって、社会人として社会に出る前に自分の属する集団の向上のために積極的に活動し、意欲的な生き方をするのはとても大切なことである。

本校の生徒の中には、学級への所属感が乏しく、またコミュニケーション能力の不足等から、友人と良好な関係を築けない生徒も見受けられる。そこで生徒一人ひとりの自己肯定感を高め自信をつけることによって、生活の基盤となる良好な人間関係や自治能力につなげていきたいと考え、本主題を設定した。

2. 研究仮説

- (1) リーダーを中心に主体的な活動を行い、達成感や成就感を味わわせることで、自己肯定感を高め、自治能力を養うことができるであろう。
- (2) 学校生活の様々な場面で仲間のよさを見つけ、相互や他者からの評価を受ける場면을意図的に設けることで、生徒自身が自分のよさに気づき、自信をつけることができるであろう。

3. 研究内容

- (1) 系列リーダー会議や生徒集会のとりくみ
- (2) 体育祭における、三中演舞「誇道」のとりくみ
- (3) 行事における「一人一役」のとりくみ

4. 結論

- (1) 生徒が主体的となって活動を行うことで、積極性や協力性が増し、自己肯定感を高めることができた。
- (2) 生徒たちが褒める、褒められるという場面を多く経験することによって、自信を持って活動することができた。
- (3) 学級における「一人一役」のとりくみでは、リーダーだけでなく、まわりで活動する生徒たちのまとまりや、与えられた役割に責任を持ち、積極的に活動する姿が多く見られた。
- (4) 教職員間でも多くの会議や意見交換をし合うことにつながり、共通認識を持って指導にあたることができた。また、若手の教職員にとっては充実した研修の場にもなった。

研究主題

系列活動を基盤とした自己肯定感を高めるための生徒会活動 ～行事のとりくみを通して～

1 設定理由

本校の学校教育目標は、「心豊かで自律し、社会の未来に貢献する生徒の育成」であり、思いやりのある豊かな心の育成として「自己肯定感を高め合う学級経営」「認め合い、助け合い、励まし合う環境づくり」「生徒と教師、生徒相互の信頼関係の構築」が重点目標として挙げられている。また、昨年度より、本校では学校教育目標具現のため「三中プライド～最高の仲間！最高の汗！最高の感動！～」をスローガンとして掲げてきた。それは、「概ね普通に物事にとりくめるものの、あと一步頑張りきれたくましさに欠ける」という三中の生徒たちの実態から、「自己肯定感を高め、自信を持たせ、三中生としての誇り（三中プライド）を身に付けて卒業させよう」という思いが込められている。

本校における「特色ある教育」の大きな柱は、異学年集団活動（以下、系列活動とする。）である。1987年から始まった系列活動（異学年清掃・体力活動・菊栽培）が今もなお継続されている。しかし近年の子どもたちの様子を見ると、系列で様々な活動にとりくんでいるものの、自主的・自律的な集団形成にまで発展していない。体育祭や文化祭、日常生活において自分たちの課題を探り、自分たちの手で解決しようという意識は薄い。こうした意識を高めていくことは、学校教育目標の具現、あるいは力強く生きていくために必要な力であると考え、系列活動を基盤とし、生徒会活動をさらに充実させていきたいと考えている。

本校の生徒の実態として、内面の未熟さやソーシャルスキルの低さなどの原因から、人間関係のトラブルを抱える生徒が見受けられる。また、学級への所属感が乏しい、コミュニケーション能力の不足等から、友人と良好な関係を築けない生徒も見受けられる。部活動や陸上大会などの対外行事では、自信が持てず自分の可能性をあきらめてしまっている生徒も多く、結果が伴っていない。そこで、学校全体で「三中プライド」を意識し、各行事などで生徒が主体的に活動できる機会を意図的に仕組み、生徒一人ひとりに達成感や成就感を味わわせることで自己肯定感を高め、自信をつける生徒が増えるであろう。また、仲間どうしや、周囲のおとなから賞賛される機会を増やすことで、生徒の自己肯定感がさらに高まるのではないだろうか。

本校のスローガンとして掲げている「三中プライド」とは、まさに生徒一人ひとりの自己肯定感につながるものである。本研究では学校教育目標の具現を目指し、様々な活動を通して生徒一人ひとりの自己肯定感を高めていくことで大きな自信をつけさせ、生活の基盤となる良好な人間関係や自治能力につなげていきたいと考える。

○自己肯定感とは何か・・・

「自己肯定感」とは自分に対する評価を行う際に、自分のよさを肯定的に認める感情のこと

○自己肯定感を高める必要性・・・

自己肯定感が高い傾向にある子どもは、進路の目標が明確で、友人関係も良好であるという調査結果が出ている。一方で、学習への意欲や理解度が低い子どもや、問題行動が見られる子どもは、自尊感情や自己肯定感が低い傾向にあることがわかっている。

(H23「自尊感情や自己肯定感に関する研究」報告書 慶応義塾大学 より)

2 研究仮説

- (1) リーダーを中心に主体的な活動を行い、達成感や成就感を味わわせることで、自己肯定感を高め、自治能力を養うことができるであろう。
- (2) 学校生活の様々な場面で仲間のよさを見つけ、相互や他者からの評価を受ける場면을意図的に設けることで、生徒自身が自分のよさに気づき、自信をつけることができるであろう。

3 研究内容

(1) 系列リーダー会議や生徒集会のとりくみ

- 学級を核とする異学年集団活動（系列活動）を通して自治能力（生徒が自分たちの問題を自分たちのこととして捉え、より良い方向に改善していける力）を育てる。
- 系列活動の深化（活性化）を図り、生徒間の好ましい人間関係を確立し、よりよい学校生活を作ろうとする生徒を育てる。

① 隔週で行われている系列リーダー会議

月に2回、系列ごとのリーダーと生徒会本部役員、専門委員長を月曜日の朝に集め、会議を行う。この会議では月予定を確認し、系列での活動について話し合いを行う。

4月・・・系列スローガンの決定、系列集会の企画・運営

5月・・・菊栽培における活動内容の確認

6、7月・・・体育祭に向けての準備、結団式の企画・運営

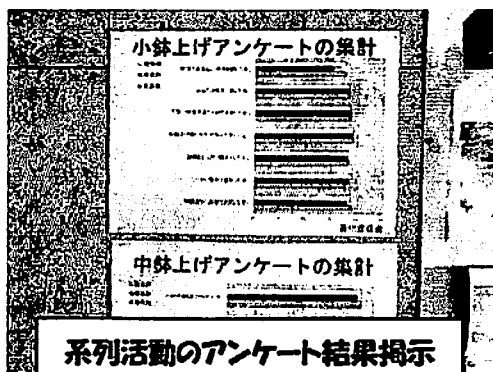
9月・・・体育祭での系列練習企画・運営、解団式の企画・運営

② 系列便りの発行・掲示物の制作【資料①】

系列活動に関する便りや掲示物を作成し、各クラスに配布、説明、掲示を行う。



系列の掲示物コーナー(玄関)



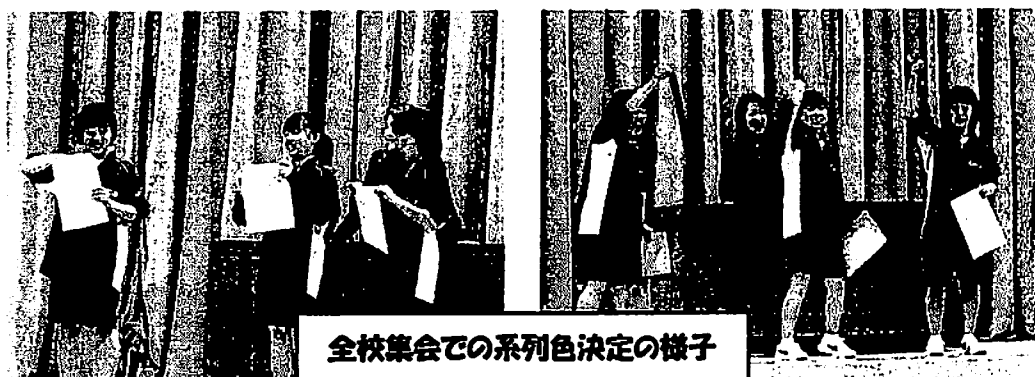
系列活動のアンケート結果掲示

③ 系列集会

全校で集まり、系列ごとにスローガン発表やシュプレッヒコールなどを行う。その後系列ごとに集まり、3年生のリーダーを中心に縦割り清掃の班編成や清掃手順の確認を行う。



系列ごとに団結力をアピール



全校集会での系列色決定の様子

④ 菊栽培活動

系列ごとに菊栽培を行う。3年生を中心に5人程度の班を作り、1、2年生に教えながら小鉢上げ・中鉢上げ・大鉢上げを行う。



3年生が1・2年生にやり方を説明



班ごとにリーダーを中心に反省会

(2) 体育祭における、三中演舞「誇道」のとりくみ

○三中演舞「誇道」とは

毎年体育祭で踊られている三中音頭の編曲・振り付けをアレンジし、体育祭の全校演技種目として演舞するというもの。(編曲・振り付けは木更津市の学校支援ボランティアに登録されている「スギモト☆ミュージカルファクトリー」の杉本智孝氏に依頼)

○このとりくみを行うにあたって

今回のとりくみは、三中生に「自信と誇り」を身に付けさせるための、今年1番の大きな挑戦と位置づけた。自分の心を身体で表現すること、仲間と共に目標に向かって努力し、苦しさを乗り越えることによって心と体を育て、大きな感動を味わわせたいと考えた。また、見ている人にも感動を与えられる人だと自ら気づいたとき、生徒たちは自信や誇りを心に刻むことができるであろう。そして、今年度新たなとりくみであるため、生徒たちには“自分たちが創始者となる、”という自覚と責任感を持たせ、今後も三中生にしか誇ることができない伝統にしていきたい。木更津第三中学校だけが演舞できる、たった1つの三中演舞「誇道」を創りあげ、生徒たちに「三中プライド」を身に付けさせたいと考え、4月からスタートした。

職員会議では何度も話し合いの場を設け、このとりくみについて様々な意見が交わされた。全校生徒・全教職員で新しいことを0から創り上げるには相当な時間と労力を要する。しかし、このとりくみを成功させることは、生徒にとって大きな教育効果が期待できることから、全教職員で決意を固め、このとりくみに挑戦することとなった。また、生徒たちに対しても教職員の熱意を伝えることで、リーダーたちのやる気を引き出し、全校生徒の意欲をかき立てるように方向性がまとまっていった。

○とりくみ方法および流れ

- ・職員会議で検討 (H28年度末)



- ・教職員でプロジェクトチームを編成
(研究主任・保健体育科・生徒会担当・
系列活動主任 等)



- ・生徒への意識付けおよび、リーダー研修会 (講義・実技) の実施と全校集会の企画運営



- ・学校支援ボランティアの活用

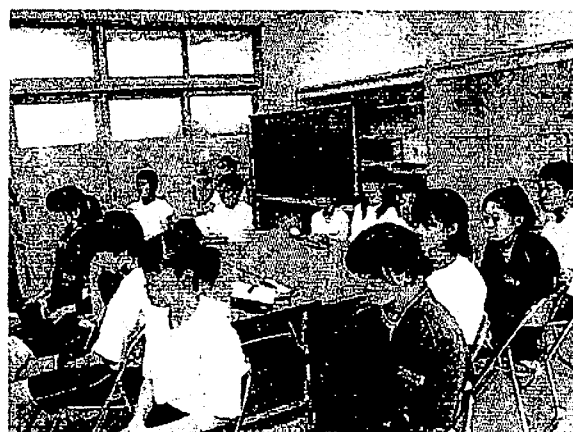


- ・正課時体育の授業 (ダンス領域) や清掃時体育の時間で実施



【生徒のとりくみ】

- ① 4月18日 (火)・・・生徒会役員を集め、新しいとりくみについて説明



全校生徒で作り上げることの大切さ、新たな伝統が生まれることのすばらしさ、このとりくみの大変さとやりがいなど、教員が熱い気持ちを生徒に投げかける。リーダーのやる気を引き出す。

② 4月24日（月）・・・三中演舞の新しいとりくみについての説明集会



全校集会で新しいとりくみについて説明



全校で組んだ円陣

生徒会本部役員から全校生徒へ新しいとりくみについて想いを語った。集会の最後には全校生徒と教職員で輪を作り、心を一つにこのとりくみを行っていこうと決意した。

③ 4月28日（金）・・・リーダー会議① 三中演舞の名称決定、今後のとりくみについて



名称について検討

新しいとりくみのリーダーを決定した。生徒会役員からこのとりくみについて改めて説明を行った。またタイトルについても話し合いを行った。「三中乱舞」「三中統魂」など様々な意見が出た中、三中演舞「誇道」に決定。リーダーたちはやる気に満ちあふれ、とても頼もしかった。

④ 5月 2日（火）・・・リーダー会議② ボランティアの杉本さんと初対面、三中音頭披露



杉本さんとリーダーで円陣

編曲・振り付けをお願いした杉本さんと生徒が初めて対面する。かけ声や振り付けのイメージを練っていただくために元の三中音頭を杉本さんに披露する。生徒たちが自分たちで創り上げると意識の高揚を図るため、編曲や振り付けの段階から関わられるよう杉本さんに依頼した。振り付けの一部やかけ声についてどうしても残してほしい部分について生徒から要望すると「今までの伝統を引き継ぎながら、新しい三中演舞を作ります。」と杉本さんから言葉をいただき、期待に胸を膨らました。さらに、曲の中には生徒のかけ声を是非とも取り入れたいとご提案いただき、レコーディングをすることになった。

⑤ 5月19日（金）・・・編曲音源に、かけ声をレコーディング



学校の放送室にてかけ声のレコーディングを行った。緊張で失敗の連続だが、生徒たちは納得のいくまで声を録り直した。普段の学校生活では味わうことができない大変貴重な体験となった。

⑥ 6月 7日（水）・・・リーダー研修会①講義



アイスブレイクでは、リーダー適性診断テストや簡単なゲームを行いリラックスした雰囲気を作った。講義ではKJ法を用いて、リーダーの資質について系列ごとに話し合いを行い、まとめ、発表を行った。リーダーに必要な資質として「積極性・思いやり・協力性・メリハリ・大きな声・ルールを守る・自信・信頼性・やさしさ・きびしさ・冷静さ」など様々な意見が挙げられた。生徒たちは自分自身を見つめ直すきっかけとなり、それぞれに必要な資質について考えられた。学校のよきリーダーになりたいと意欲を高めたことが、リーダー研修会後の感想【資料②】からうかがえた。

⑦6月12日(月)・・・リーダー研修会②実技



放課後の振り付け練習。三中演舞「誇道」を初めて踊る！

初めて新しい三中演舞を踊った日、杉本さんによる3時間にも及ぶ実技指導が行われた。生徒だけでなく教職員も一緒に振り付けを覚えていき、「難しいけれど、すごく楽しい！」と踊りに熱中する生徒も多かった。新しい歴史の第一歩を踏み出した日となった。

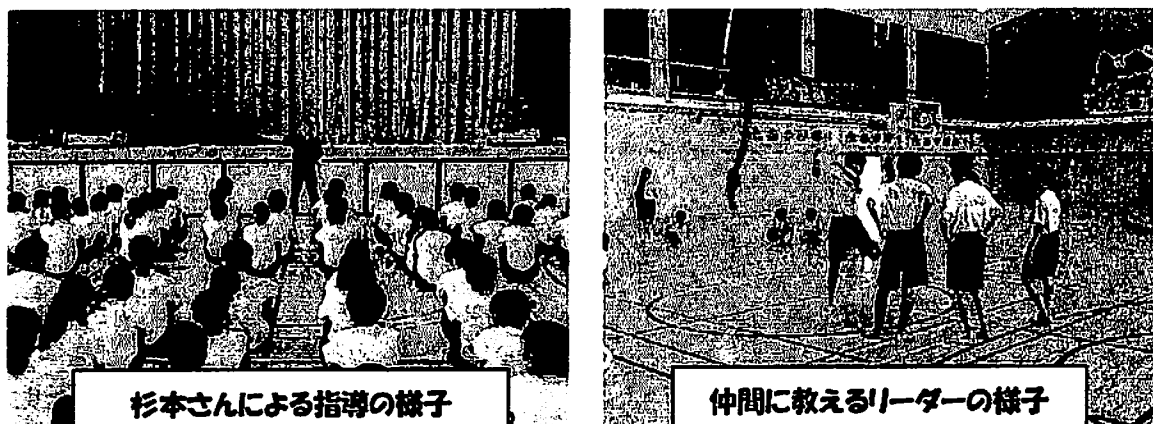
⑧6月16日(金)・・・三中演舞「誇道」お披露目集会



誇道を見た生徒からの感想

全校生徒が初めて三中演舞「誇道」を見る。リーダーたちの気持ちの込められた踊りに対して「ものすごく格好良かった。早く自分も踊りたい。」「リーダーの気迫がすごかった。体育祭で、みんなで踊るのが楽しみ。」などの感想が挙げられた。

⑨6月19日(月)・・・体育の時間に指導開始



杉本さんによる指導の様子

仲間に教えるリーダーの様子

正課時体育の時間には、保健体育科教員の指導のもと、リーダーを中心に誇道の振り付けを覚えていく。また系列体育や清掃時体育の時間には、3年生のリーダーが1、2年生に振り付けを教える場面が数多くみられた。体育祭のセンター決めや本番に向けて系列ごとに競わせることで気持ちを高め、一体感が生まれていく。

⑩ 8月19日（土）・・・木更津市学校支援ボランティア交流集会での実践発表



大勢の方々の前で自信を持って発表



今までのとくみを紹介

ボランティアを活用したとくみとして、学校支援ボランティア交流集会で紹介・発表を行った。当日は10人のリーダーが三中の代表として、立派な発表と演舞の実演を行った。気迫あふれる演舞披露に、会場では拍手と歓声があがり、賞賛の声を多くいただいた。生徒たちも大きな自信をつけた表情で、充実した発表となった。

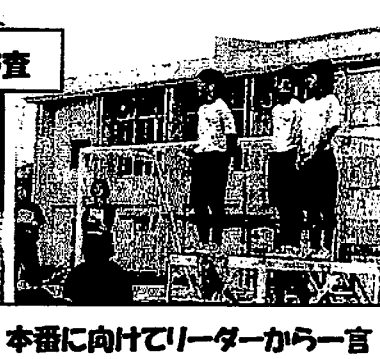
⑪ 9月 4日（月）・・・体育祭におけるセンター決め



発表前、各系列が気合いを入れる



系列ごとに演舞披露と審査



本番に向けてリーダーから一言

体育祭に向けて、センターで踊る系列を決めるための審査会を実施。発表前にはリーダーを中心に、全員で円陣を組み、気合いを入れる姿も見られた。どの系列も気持ちのこもった演舞を披露した。「ここから体育祭まで、今度は全校で気持ちを一つにしていこう」とリーダーから一言に、どの系列も前向きな姿勢でとくめていた。

⑫ 9月 9日（土）・・・体育祭当日



一心不乱に踊る姿

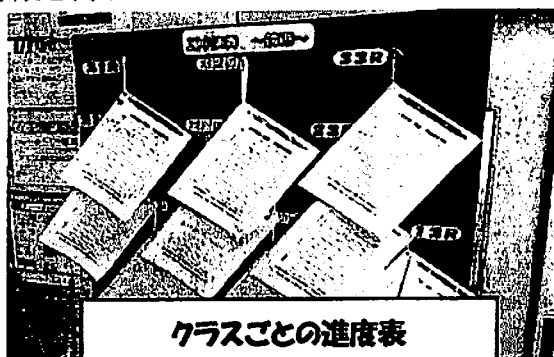


最後のポーズ、「ヤー！！」

体育祭本番では、全校生徒による三中演舞「誇道」が初めて地域の方々に披露された。クラスや学年、系列を越えて踊られた演舞は想像以上の迫力と、大きな感動を巻き起こした。ボランティアの杉本さんもお越しいただき、アンコールでは杉本さんと教職員も加わり、最高の演舞を作り上げることができた。生徒の表情や見ている人の顔にはきらきらした笑顔があった。

【誇道完成までのとりくみ】

- 4月 5日・・・職員会議提案ならびにプロジェクトチーム発足
- 4月18日・・・プロジェクト会議①（全校集会、リーダー、今後の日程についての検討）
- 4月21日・・・プロジェクト会議②（リーダー会議、研修会、杉本さん来校について）
- 4月28日・・・プロジェクト会議③（リーダー研修会内容検討）
- 5月19日・・・プロジェクト会議④（レコーディング、杉本さんと音源や振り付けの検討）
- 5月29日・・・プロジェクト会議⑤（リーダー研修会内容決定）
- 6月 7日・・・リーダー研修会①（講義）【資料③】
- 6月12日・・・リーダー研修会②（実技）
プロジェクト会議⑥（全校集会の内容検討、今後のとりくみ確認）
- 6月22日・・・誇道のとりくみに関する掲示物の作成・掲示
- 7月12日・・・誇道の評価規準&進度表の作成と掲示



- 8月19日・・・木更津市学校支援ボランティア交流集会の実践発表（演舞披露）
- 8月30日・・・プロジェクト会議⑦（センター決め、当日の発表の流れ検討）
- 8月31日・・・全職員に周知するたよりを担当者が発行（日報）【資料④】
- 9月 4日・・・センター決め（演舞審査）
- 9月 5日・・・全校体育（発表に向けての指導）
- 9月 9日・・・体育祭当日

(3) 行事における「一人一役」のとりくみ

○行事においては、リーダーだけでなくクラス全員が学級への所属感を持てるように支援する必要がある。そこで本校では、生徒全員が何かしらの係のリーダーとなる「一人一役」のとりくみを全学級で実施した。また、各リーダーが計画や作戦を立て、クラスで企画書を作るなどの活動も行った。全員がリーダーとしてとりくむことで、役割に対する積極性や仲間どうしの協力性、そして学級への所属感が高まるよう教員が指導・支援をした。

【資料⑤】

役割を持たせる→教員の指導・支援→やり遂げる→ほめられる
→達成感・成就感 →やる気&自己肯定感 UP
《生徒の動きを把握しておくことで、承認・賞賛の場面を見つける。そしてほめる！》



4 結論

○5月と9月に「自分に関するアンケート」を実施。2つのデータを比較してみる。【資料⑥】ほとんどの項目で数値の上昇が見られた。その中でも以下の項目を取り上げて考察してみる。

	全校		リーダー抽出	
	5月	9月	5月	9月
6. 仲間から認められている。	2.9	2.9	3.1	3.2
8. 何かに挑戦したい。	3.1	3.2	3.5	3.5
14. 役に立たない人間だと思わない。	2.9	2.9	3.1	3.4
17. 人に感謝している。	3.5	3.4	3.7	3.7

6と14の項目では全校の数値は変化していないが、リーダーの数値だけを見ると上昇がみられる。このことから、リーダー以外の生徒の数値が下降していることが分かる。リーダーの自己肯定感を高めることには貢献しているが、全校生徒の底上げには結びついていないことがうかがえる。また、8の項目の数値の上昇や、17の項目の数値の下降からも、リーダー以外の生徒が活躍する場を意図的に仕組み成功体験に結びつけていくことが必要不可欠である。一人一役の活動でも、役割を与えてはいるものの、教職員がそれをうまく機能させるまでに至っていないことが今後の課題である。

<成果>

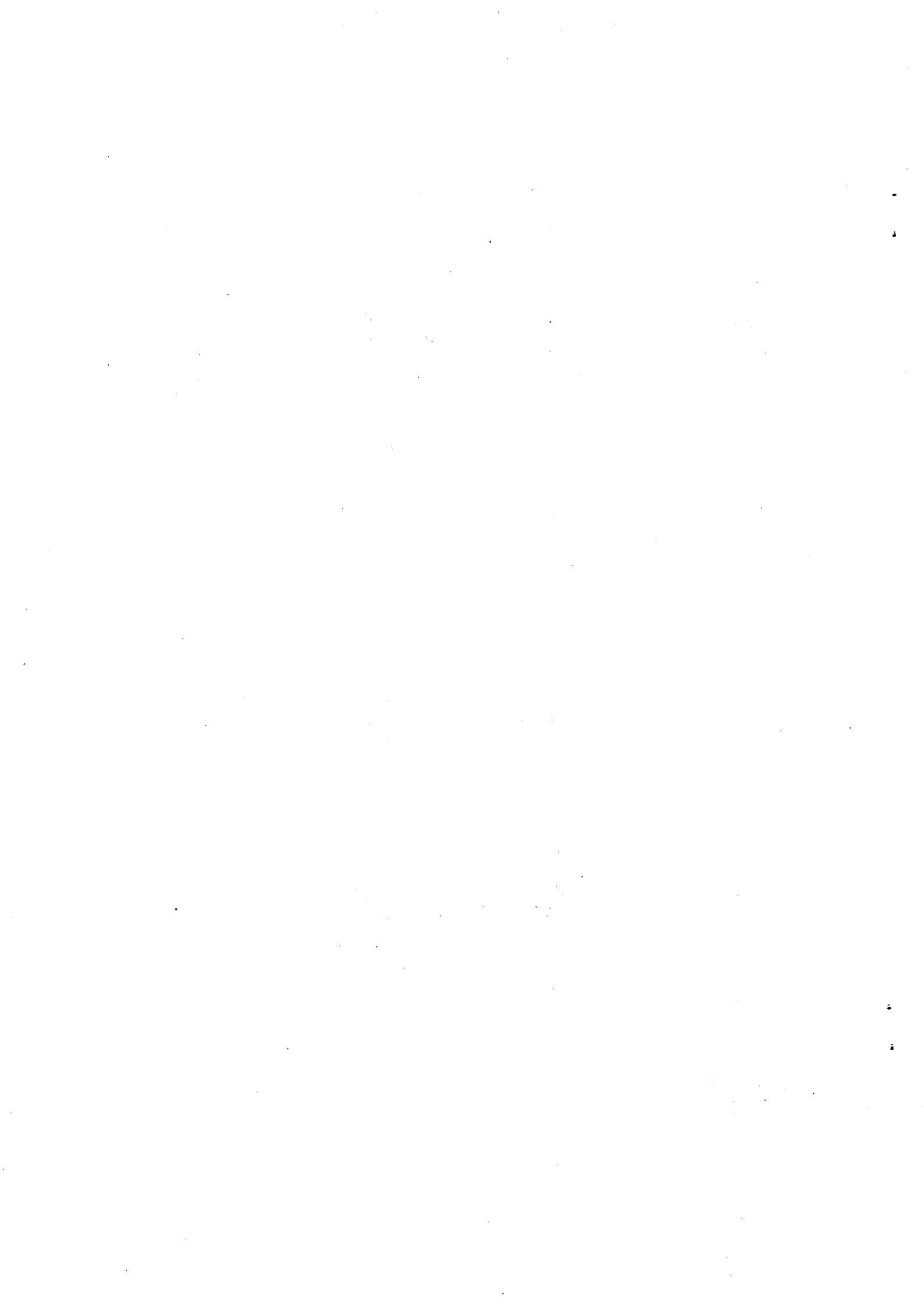
- 「4. 自分を良く思っている」「5. 自分に満足している」「11. 悩みを解決できる」の項目で大きな数値の上昇がみられた。自己肯定感が高まり、自信をもって活動できるようになってきたと考えられる。
- 様々な活動を行う中で、お互いを認め合い、賞賛する場面が増えたことによって、仲間どうしや教職員と生徒との信頼関係や協力が格段に上がった。
- 系列活動によって、2・3年生はリーダーの意識が高まり、積極的に行動する場面が多く見られた。また1・2年生は3年生やリーダーの姿を見て、協力する姿や前向きにとりくむ姿が見られた。
- 一人一役のとりくみによって、生徒主体の話し合いや活動が増え、自主性や自治の能力を高めることができた。
- 多くの会議を重ねることで、生徒への声かけや取り組ませ方を考え、教職員間でも共通理解を図りながら活動することができた。また若手の教職員にとっては、貴重な研修の場になることができた。

<課題>

- リーダーとして活動している生徒の自己肯定感は高まってきたものの、フォロワーの自己肯定感をさらに高めていく必要がある。
- 生徒を前面に出して自治能力を高める指導は、教職員が行うより倍以上の時間と労力が必要である。限られた時間の中で成果が得られるような指導力をさらに教職員は身につけていかなければならない。
- このとりくみが行事にとどまることなく、本来の目的である学校教育目標の具現や自信を持って自分の人生を生き抜く力になるよう、他の教育活動に波及させていかなければならない。

資

料



美化委員会便り

発行日 H29 4月24日

文責

(32R)

『小鉢上げについて』 期日 5月9日(火) 6校時

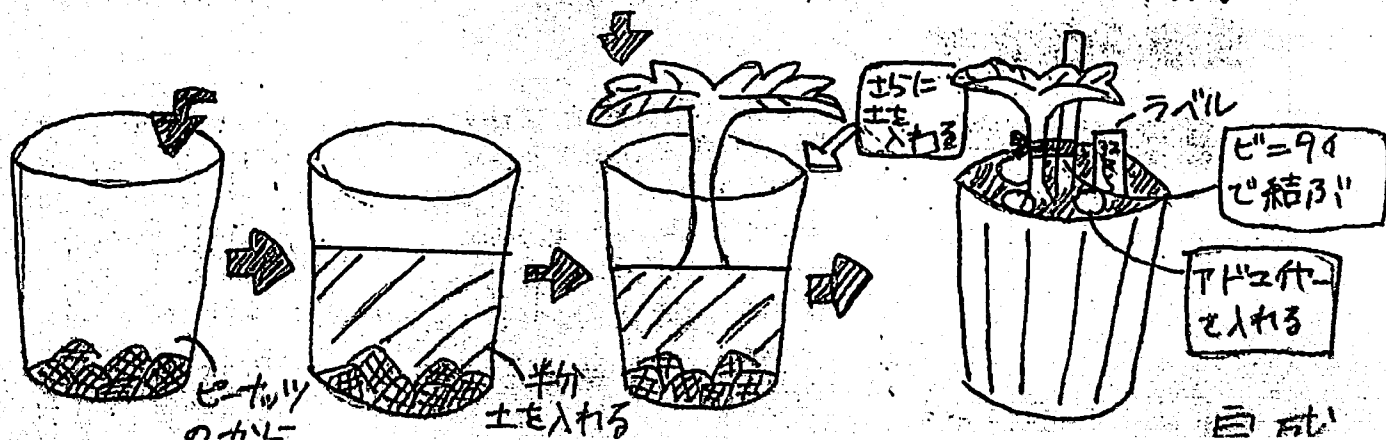
- 『目標』
- 1年生は3年生の指示をよく聞いて行動する。
 - 2年生は、3年生のサポートをしつつ1年生のお手本になる。
 - 3年生は、リーダーだけがやるのではなく、全員が仕事をする。
 - スムーズに作業を進める。

☆流れ☆

- ①5校時終了後、ラベルをもってグラウンドに集合。(体育委員長は整列させて下さい。)
- ②全体の会を行う。(美化委員が進行します。)
- ③系列ごとに移動。(動きは、系列リーダーが指示して下さい。)
- ④系列ごとに「小鉢上げ」をする。
- ⑤片付けをしい系列ごとに全体会を行う。(この時に活動の評価をして下さい。)

☆小鉢上げの手順☆

- ①割り箸の先を削り、土の中に入れやすいようにする。(割り箸を支柱として使用)
- ②割り箸と茎をビニタイで結ぶ。
- ③ビニールポットにピータツの殻をひとつまみ(15~6個入れる。)
- ④土と腐葉土、赤玉土を混ぜたものをポットの半分まで入れる。
- ⑤ポットごと水に浸した苗を植える。(入っていたピータツはそのまま使用)(バケツを用意しておきます。)
- ⑥苗のまわりに土を入れ、苗が動かないように外側の土をえっとおさえ、こぼれさせつける。
- ⑦アドマイヤーを土の上にかるくかける。
- ⑧最後にラベルをつけてクラスごとに「小鉢」を「カゴ」に入れ、中庭へ移動。



美化だよリ

- 前日行われた小鉢上げのアンケートの結果を発表します。
- ① 小鉢上げの手順を理解していた
 - ② 全体での小鉢上げの流れが把握できていた
 - ③ 1、2年生にしっかり教えることができた (3年のみ)
 - ④ 片付けがしっかりできた
 - ⑤ スムーズに作業が進められた
 - ⑥ しっかりと指示をたすことができた

系列の反省も便りにして配布

	① (はい) (いいえ)	② (はい) (いいえ)	③ (はい) (いいえ)	④ (はい) (いいえ)	⑤ (はい) (いいえ)	⑥ (はい) (いいえ)
11R	18人・11人	22人・6人	26人・3人	25人・1人	8人・20人	
12R	21人・4人	22人・3人	19人・6人	25人・0人	4人・21人	
13R	19人・8人	22人・5人	25人・2人	27人・0人	2人・20人	
21R	22人・2人	22人・2人	21人・3人	22人・2人	12人・11人	
22R	20人・2人	21人・1人	21人・1人	22人・0人	11人・11人	
23R	16人・6人	22人・0人	21人・1人	15人・1人	15人・7人	
31R	21人・0人	21人・0人	19人・2人	19人・2人	19人・2人	16人・5人
32R	20人・0人	19人・1人	20人・0人	19人・1人	19人・1人	18人・2人
33R	20人・0人	21人・0人	16人・5人	18人・3人	16人・5人	14人・6人

今回の結果では3年生になるにつれ「はい」の人が増えているのが良かったと思います。来月には中鉢上げがあります。3年生が指示をたし片付けまでスムーズに行えるようにしてください。

今回の小鉢上げでは、作業が終わり、床あとの片付けやリーダーの動きが適切でなく、スムーズに動けなかったことが反省です。
次の中鉢上げでは、各班片付けの分担を明確にして工夫して片付け作業をしていきたいです。

青系列長

黄系列は、「作業もスムーズ」に行うことができて、片付けの時も「片付けます!」と積極的に人が多く良かったと思います。3年生のリーダーをあと増やしていきたいです。32R

赤系列では、避けている3年生や、片付けに参加していない3年生が、自ら5年生と1年生になつていっているという話を聞いた。20.物物はお前からの体験や文化祭にもつながると思つて、全員がリーダーとして自信を持つ。最高、系列と作り上げよう!

33R

小鉢上げ「おっかん様でした。
黄系列では、とてもスムーズに道が終われた感じが良かったです。終わるとは、お祝いしてあげたいです。たまたま、ははは。お祝いしてあげたいです。
3年生はしっかりと動けると、1、2年生もついでに動いて。指示をしっかりと出し、1、2年生のお手本にはなります。32R

生徒の反省や感想も掲載

今回の小鉢上げでは、3年生のリーダーに動きが遅く、時間内に終わることができませんでした。他には片付けの分担をこなすため、片付けがスムーズに進められていました。次の中鉢上げでこれからの系列活動に今回の反省点をなおしていきたいと思います。

青副系列長

小鉢上げでは、各クラスのリーダーが職員に指示をしっかりと出せていたのが良かったです。でも、片付けの時に自分から積極的に動いていない人がいたので、中鉢上げでは全員が片付けできるように呼びかけをしていきたいです。31R

リーダー研修会を終えての感想

④今日のリーダー研修会に参加して、学んだことと今後の決意を記入しましょう。

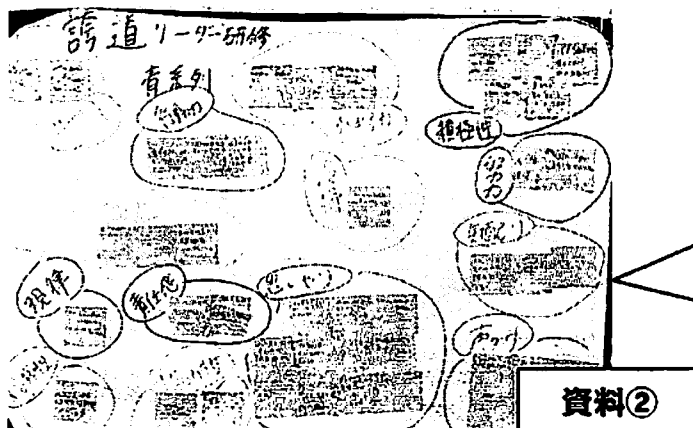
今日の自分なりのリーダーになるべき姿を自分なりに具体的に書いて発表しようとしたけど、自分は「冷静な指示ができる」や「仲間を勇気づける」ような声かけなどの訓練を受けたけど、他は思いやりや積極性などが多く出てきて、それを大事だなと思った。けど、一番リーダーになって大事なのは、信頼されることだと思った。信頼性だと思った。信頼性があるからこそ、仲間がついてきてくれるんだと思った。自分はあまり表に出さず、リーダーにならなりたいからには、仲間に信頼されるようなリーダーになりたい。

④今日のリーダー研修会に参加して、学んだことと今後の決意を記入しましょう。

やはり、あたりまえのことをあたりまえにできないという人には誰もついてこないと思いました。リーダーという失頭で立つ人ならば、自覚を持っていて、何事も一生懸命に取り組み、姿を見せるべきだと思いました。また、何事も自分だけで解決しようとしたら、一人でどうもいかなくて悩むのは、リーダーには向いていないと感じました。周りには協力してくれるリーダーがいるので、みんなが「良い団体をつくらう」とすれば、協力してくれる人も増え、更に良い活動が出来ると思いました。今回の研修で、私の理想のリーダー像が見え、それを目標に今後の活動にいきます。この話し合いの取り組み、全校で絶対成功させたい。

④今日のリーダー研修会に参加して、学んだことと今後の決意を記入しましょう。

皆が思い浮かべるリーダー像の中で、「思いやりが大切だ」と主張している人が多かった。その中で、自分も思いやりがもてるリーダーにはなりたいと思う。また、2組のほうでは、リーダーは、きびしいことも必要だという意見があっていたので、どういふきびしいにすればいいのかを考え、相手のやる気が上がるように指示をたいて、やっていきたいと思います。この3人演舞～話し合い～を成功させることを第一に、リーダー以外の人のやる気もあがらせるように、周りの人の気持ちを考えて、この活動に全員で取り組んでいきたいと思います。



系列ごとに意見をまとめたもの

リーダー研修について

1. ねらい

- ・リーダーに必要な資質を理解させる。
- ・自分たちが三中を代表するリーダーであるという自覚を持たせる。
- ・「三中の新しい取り組み」を成功させたいという強い気持ちを持たせる。

2. 日時 平成29年6月8日（木）放課後（76分）16：20～

3. 場所 1階会議室（講義の内容で席順などは決定）

4. 服装・持ち物 体操服、筆記用具

5. 参加職員 プロジェクトチームの先生方、参加できる先生方

6. 内容（教師主導）76分

時間		司会
2	1. 始めの言葉 ・研修のねらいなども含む。	
7	2. 三中演舞の名称発表 （その後）誇道の曲紹介（CD使用）	
①10	2. 講義 ①アイスブレイク	
②52	②講義（KJ法、まとめなど）	
3	4. 今後の日程について	
1	5. 連絡	
1	6. 終わりの言葉	

話し合い活動について(KJ法)

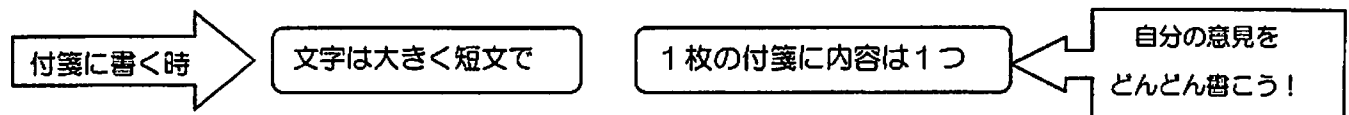
1. KJ法による話し合い

KJ法とは、共通の課題・テーマに向けてさまざまな情報を整理し、相互に関連付けながら、新たな発見を生み出す時に有効です。協同作業をすることで仲間づくりの効果も期待できます。

進め方

①個人の考えを付箋に書く。

・共通の課題、テーマに対して、個人の考えをカード（大きめの付箋紙）に書く。（一人最大5枚まで）



・付箋の枚数、ペンの色、カードに書く方向を事前に決めておく。（付箋は1人5枚、黒ペン、横書き）

・1枚の付箋に一つの事柄（短文）を書く。

②書いた事柄を模造紙に貼る。

・1人がカードを模造紙上に貼り、その事柄についてコメントをする。（具体的な行動や考えも含む）

・同じ意見は近い場所に貼っていく。

③全員貼り終わったら、グループ分けする。

④事柄ごとに線で囲み、見出しをつける。

・線や見出しの色を工夫する。（線や見出しの色は、事柄ごとに変わる）

⑤文書化する。

・見出しを基に、テーマに対するグループとしての考えを文書にする。

（見出しをつなげるだけでなく、出た意見から具体的な行動や考え方も入れる）

⑥発表をする。

・発表者は、テーマに対するグループの考えを発表する。

・全員が学んだことや今後の意気込みを発表する。

三中の新しい取り組みについて(講義)
テーマ:「リーダーがとるべき、具体的な言動は何か」

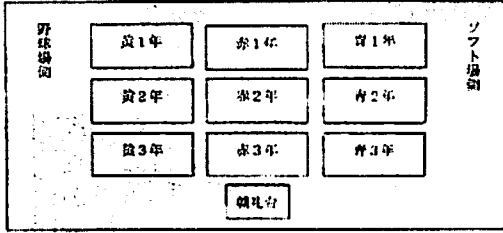
時間	生徒の動き	教師の動き(講義担当)	PJTの動き											
10	○アイスブレイク	○アイスブレイク	○活動を補助。											
2	1. テーマを理解する。	1. テーマを伝える。 「リーダーがとるべき具体的な言動は何か」 ※新三中演舞のリーダーとして、リーダー性について考え、力を高めていく必要があることを理解させる。	1. 担当グループの席に着く。											
4	2. KJ法について理解する。	2. KJ法の進め方について説明する。 ※(「話し合い活動について(KJ法)」のプリント使用。	2. 担当グループにプリントを配布する。											
25	3. 話し合い活動に取り組む。 ※KJ法の①～⑤に取り組む。 ◎司会・進行、○発表 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">①付箋に意見を書く。(5分)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">②模造紙に付箋を貼る。(5分)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">③グループ分けする。(5分)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">④事柄ごとに線で囲み、見出しをつける。(5分)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">⑤文書化する。(5分)</td> </tr> </table>	①付箋に意見を書く。(5分)	②模造紙に付箋を貼る。(5分)	③グループ分けする。(5分)	④事柄ごとに線で囲み、見出しをつける。(5分)	⑤文書化する。(5分)	3. 話し合い活動に取り組ませる。 ※KJ法の①～⑤を実施させる。 ※取り組みの様子を見て回る。 ↓ 「まとめ」で伝えることができる。 (例) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">生徒が付箋に書くこと</td> <td style="padding: 2px;">見出し</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・練習計画を立てる。 ・道具を準備する。</td> <td style="padding: 2px;">計画性</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">・優しく教えてあげる。 ・励ましの言葉をかける。</td> <td style="padding: 2px;">思いやり</td> </tr> </table>	生徒が付箋に書くこと	見出し	・練習計画を立てる。 ・道具を準備する。	計画性	・優しく教えてあげる。 ・励ましの言葉をかける。	思いやり	3. 担当グループの話し合い等を支援する。 ※付箋や模造紙、マジックなどを配布する。 ※話し合いの進め方やグループ分けの仕方などのアドバイスを
①付箋に意見を書く。(5分)														
②模造紙に付箋を貼る。(5分)														
③グループ分けする。(5分)														
④事柄ごとに線で囲み、見出しをつける。(5分)														
⑤文書化する。(5分)														
生徒が付箋に書くこと	見出し													
・練習計画を立てる。 ・道具を準備する。	計画性													
・優しく教えてあげる。 ・励ましの言葉をかける。	思いやり													
6	4. 発表をする。 (1グループ2分×3=6分) ・グループごとに全員が前に出る。 ①模造紙をホワイトボードに貼る。 ②発表者がグループで出た意見を言い、テーマについての考えを述べる。 ③話し合い活動で学んだことや今後の意気込みを一人ずつ発表する。 (3年→2年→1年)	4. 発表をさせる。 ※発表を真剣に聞かせることで、仲間の考えを理解させたり、共感させたりする。	4. しっかりと発表をしたり、聞いたりする雰囲気や姿勢を作らせる。											
15	5. まとめを聞く。	5. 本講義のまとめをする。(高梨先生) ※リーダーの資質について。	5. 集中してまとめを聞かせる。											
計 62	必要な物 ① 造紙3枚 ② 付箋(最低180枚) ③ マジック一式(3セット)													

挑戦～誇りを胸に～

誇道だより
2017年8月31日(木)
発行所 佐藤 卓哉

～8月31日(木)の練習について～

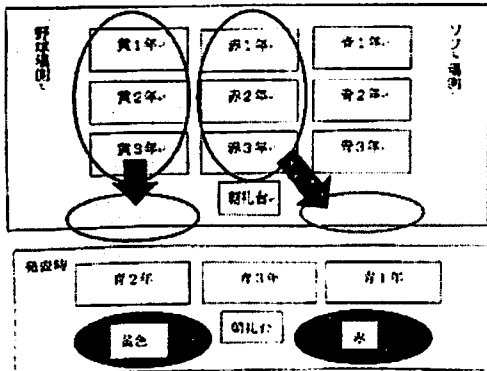
① 旗合(陣地の、誇道隊形)



リーダーが流れを
理解して説明する
こと。
旗合の並び方を必
ず伝えておいてく
ださい。

2学期から誇道のとりくみについて、毎日体育科から日報が出される。

- ② 生徒のお話
- ③ 先生のお話
- ④ 評価について
※細かい点は各クラス誇道リーダーが学級で伝えておく。
- ⑤ 通して踊ってみる
- ⑥ 細かい点の全体指導・部分練習
- ⑦ 系列ごとに前半部分(ラップの前まで)の練習。同一箇所の練習



※アドバイザー両先生が
誇道リーダーと話し合
い

残った
部分と
入れ替える。

⑧ 旗合(真横)(佐藤)

三中演舞～誇道～ 評価採点用紙

評価の項目	内容	採点	評価	
			最高	最低
旗合の形	① リーダーの指示で一人となって動き、大きな声で言葉を伝える。	5	5	5
	② 目を閉じて呼吸を整え、心も落ち着かせることができる。(目を閉じた姿勢・リズムを伝える・声の大きさ)	5	5	5
	③ クラスで協力し、仲間と助け合って取り組むことができる。	5	5	5
旗合の準備	④ クラス全員が、動きを覚え、踊ることができる。	5	5	5
	⑤ リズムに合わせて踊ることができる。	5	5	5
	⑥ 指示通りに動きを入れ、顔の向きや視線に気をつけて踊ることができる。	10	5	10
	⑦ 動く・止める・高く・低くなど、メリハリをつけた動きで踊ることができる。	10	5	10
	⑧ 旗・棒の列を整え、きれいに隊形をつくることができる。	5	5	5
旗合の準備	⑨ 全員が、最後まで大きな声を出しながら踊ることができる。	10	5	10
	⑩ 一人一人が、表情豊かに、自信を持って踊ることができる。	5	5	5

※本学の項目の配点を大きくしました。見直しだけでも向上すると思います。頑張ってください。

① うつろの中心をキープし、リズムに合わせて踊る。

② いっしょに呼吸を整え、心も落ち着かせる。

③ 目を閉じて呼吸を整え、心も落ち着かせる。

④ クラスで協力し、仲間と助け合って取り組む。

⑤ クラス全員が、動きを覚え、踊ることができる。

⑥ リズムに合わせて踊ることができる。

⑦ 指示通りに動きを入れ、顔の向きや視線に気をつけて踊ることができる。

⑧ 動く・止める・高く・低くなど、メリハリをつけた動きで踊ることができる。

⑨ 旗・棒の列を整え、きれいに隊形をつくる。

⑩ 全員が、最後まで大きな声を出しながら踊ることができる。

⑪ 一人一人が、表情豊かに、自信を持って踊ることができる。

こういふことをがんばりましょう。

**評価や振り付けに
おける重点などが
わかりやすく掲載
されている。**

組織・役割分担 ～体育祭に向けて、一人一役～

32R 番 氏名:

○体育祭はリーダーが大事！！ただしリーダーだけが活躍するのではない。

全員で一致団結すれば、絶対に負けない最強のクラスになる！！

見せろ、32Rの、**磨気自魂！！**！！

応援団以外にも、役割はたくさんあります！一人一人が自分の役割をしっかり果たせば、こんなに心強い集団はないはず。全員 × リーダー = 最強！！



平成29年度

22R

体育祭企画書



学級目標

「喜怒哀楽」

喜 (みんなで喜び合う)

怒 (悪いことをした時は注意する)

哀 (悔しい時はみんなで悔しむ)

楽 (楽しい時は盛大に盛り上がる)

22R 体育祭提案文書

結団式を終え、体育祭モードに突入してきました！夏休みを目の前にして、「全力」という言葉が我ら22Rに立ちはだかる！！

今年の体育祭はひと味違うものにしたい…！来年、系列のリーダーになるために、何か成長できるものを築きたい…！！そこで、今回は各担当者が「企画書」を作ること、より計画的に理論的に体育祭にアプローチしようという作戦です！3年生は自分たちで練習計画をつくり、1・2年生に指示しなくてはなりません。これができれば、きっと来年もクラスで活躍できるはず！今年は練習！でも「全力」で挑むために、難しいけど、まずはやってみよう！22Rのためにやってみよう！！

【企画書の書き方】

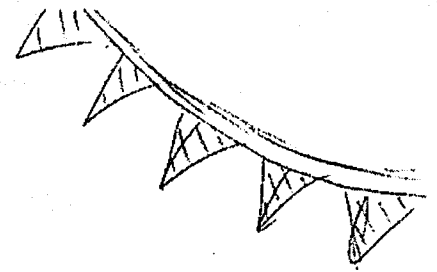
- A4の用紙に、できるだけ濃い文字で書く。用紙の使い方は自由。
- 最初に何の担当か、次に担当者の名前を書く。
- ルールなど、わからないまま書かないこと。会長や先生に聞くこと。
- 何枚でもOK！
- 先生にチェックを受けて合格をもらったら完成！
(合格基準：誰が見てもわかりやすいこと)

【作成内容】

- ① 役割名（担当種目）
- ② 担当者
- ③ 学級の実態（良いところ、問題点、体育祭を通してどんな学級にしたいか）
- ④ 取り組み目標（こんな風に取り組むぞ！「全員で声を出す」「マイナス発言を絶対にしない」など）
- ⑤ 練習目標（数値目標もできたら。「〇〇秒」「〇回」など）
- ⑥ ルール（わかる範囲で。嘘は書かない。）
- ⑦ 具体的な取り組み（並び方や順序など、どんな風に並んだら目標に近づけるのか考える。意味のある並び方でないと、クラスのみんなは納得してくれないよ。）
- ⑧ 作戦など

※最終締め切り：2 学期始業式

応援部門 ☺



[学級の実態]

～良い所～

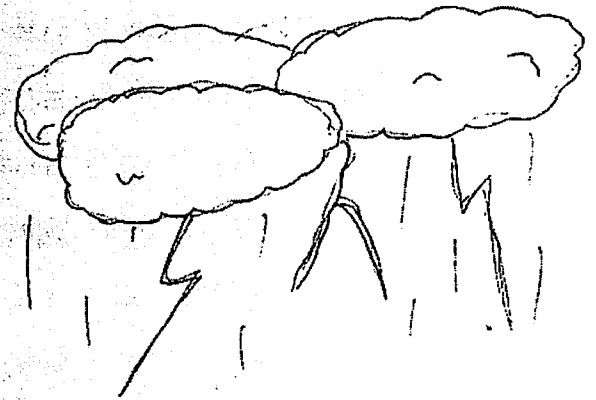
- ・協力性がある
- ・楽しめる
- ・呼びかけ
- ・やればできる
- ・団結力
- ・フォローしあえる

～悪い所～

- ・メリハリがない
- ・やる気がない
- ・集中力が足りない
- ・無駄話
- ・リーダーの指示をきかない
- ・手がぬいている
- ・自信がない
- ・声が小さい

[取り組み目標]

やる気 UP! ～勝っ気満々??～



[練習目標]

- ・声を出す
- ・手をぬかない
- ・リーダーの指示をきく
- ・集中する
- ・常に全力
- ・さらに楽しむ

[具体的な取り組み]

～誇道～

覚える → 声出し → 細かい(指先) → 全部 → 自信 → 発揮

～競技～

リーダーの指示・協力を大切にす

自分に関するアンケート

年 組 番 氏名

次の質問に対して、あなたに一番近いと思うものに○をつけてください。

- | |
|----------------|
| 1・・・全然そう思わない。 |
| 2・・・あまりそう思わない。 |
| 3・・・少しそう思う。 |
| 4・・・とてもそう思う。 |

- | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---|
| ①自分は少なくとも人並みに価値のある人間である。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ②自分は良いところをいろいろ持っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③物事を人並みには、うまくやれる。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④自分で自分のことを良く思っている。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑤自分自身にだいたい満足している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑥自分は仲間から認められていると思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑦目標や理想（夢）を持って生活している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑧何かに挑戦してみようという気持ちがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑨自分でも「やればできる」と思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑩他人に優しく接することができる。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑪不安や悩みをうまく解決できる方だと思う。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑫自分には、自慢できるところがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑬自分はまったくダメな人間だと思わない。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑭何かにつけて自分は役に立たない人間だと思わない。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑮私は自分のことが好きである | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑯人と違っていても自分が正しいと思うことは主張できる。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑰自分を見守ってくれている周りの人々に感謝している。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑱私は自分の個性を大切にしたい。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑲私は自分の判断や行動を信じることができる。 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ⑳自分の言葉や行動で誰かに感謝されたことがある。 | 1 | 2 | 3 | 4 |

5月の結果	全校生徒				リーダーのみ抽出					
	1年	2年	3年	平均	1年 学評	2年 学評	3年 学評	生徒会 役員	誇道 リーダー	平均
1. 価値ある人間である。	2.7	2.8	2.8	2.8	3.3	3.3	2.9	3.2	3.2	3.1
2. 良いところがある。	2.6	2.8	2.7	2.7	2.8	3.3	3.0	3.4	3.1	3.1
3. 物事を人並みにやれる。	2.8	2.7	2.8	2.8	3.4	3.4	3.0	3.5	3.4	3.3
4. 自分を良く思っている。	2.5	2.6	2.7	2.6	2.6	3.1	2.6	3.2	3.0	2.9
5. 自分に満足している。	2.7	2.6	2.7	2.7	2.9	3.1	2.4	3.2	3.0	2.9
6. 仲間から認められている。	2.8	3.0	2.9	2.9	3.1	3.2	2.8	3.4	3.1	3.1
7. 目標を持っている。	3.2	3.0	3.0	3.1	3.4	3.7	3.0	3.3	3.4	3.3
8. 何かに挑戦したい。	3.1	3.0	3.1	3.1	3.7	3.9	3.0	3.6	3.6	3.5
9. やればできる。	3.1	3.1	2.9	3.0	3.4	3.8	2.7	3.4	3.5	3.3
10. 人に優しい。	3.1	3.2	3.1	3.1	3.8	3.7	2.9	3.5	3.5	3.5
11. 悩みを解決できる。	2.6	2.8	2.8	2.7	3.3	2.9	2.6	3.5	3.1	3.0
12. 自慢できるところがある。	2.6	2.7	2.6	2.6	2.8	3.1	2.7	3.1	2.9	2.9
13. ダメな人間だと思わない。	2.8	2.7	2.8	2.8	2.9	3.4	2.3	3.5	3.1	3.0
14. 役に立たない人間だと思わない。	2.9	2.9	2.9	2.9	3.1	3.2	2.6	3.7	3.3	3.1
15. 自分が好きである。	2.6	2.5	2.6	2.6	2.9	2.8	2.2	3.2	2.8	2.7
16. 意見を主張できる。	2.9	2.8	3.0	2.9	3.4	3.7	3.0	3.4	3.2	3.3
17. 人に感謝している。	3.6	3.4	3.4	3.5	4.0	4.0	3.4	3.6	3.8	3.7
18. 個性を大切にしたい。	3.2	3.2	3.2	3.2	3.7	3.9	2.9	3.7	3.7	3.5
19. 自分の判断を信じる。	2.9	2.9	3.2	3.0	3.3	3.8	3.2	3.5	3.5	3.4
20. 感謝されたことがある。	2.9	3.1	3.0	3.0	3.2	3.8	3.1	3.4	3.4	3.3
平均	2.9	2.9	2.9	2.9	3.2	3.4	2.8	3.4	3.2	3.2

9月の結果	全校生徒				リーダーのみ抽出					
	1年	2年	3年	平均	1年 学評	2年 学評	3年 学評	生徒会 役員	誇道 リーダー	平均
1. 価値ある人間である。	2.8	2.9	2.9	2.9	3.6	3.2	3.1	3.4	3.2	3.3
2. 良いところがある。	2.8	2.8	2.8	2.8	3.5	3.3	3.0	3.2	3.1	3.2
3. 物事を人並みにやれる。	2.9	2.9	2.9	2.9	3.5	3.3	3.6	3.2	3.4	3.4
4. 自分を良く思っている。	2.7	2.7	2.8	2.7	3.1	3.2	3.1	3.4	3.1	3.2
5. 自分に満足している。	3.0	2.8	2.8	2.9	3.6	3.2	3.0	3.3	3.2	3.3
6. 仲間から認められている。	2.9	3.0	2.9	2.9	3.3	3.3	3.0	3.3	3.1	3.2
7. 目標を持っている。	3.1	3.2	3.0	3.1	3.6	3.3	3.3	3.1	3.4	3.3
8. 何かに挑戦したい。	3.1	3.2	3.2	3.2	3.9	3.4	3.2	3.4	3.6	3.5
9. やればできる。	3.1	3.2	3.1	3.1	4.0	3.3	3.2	3.5	3.5	3.5
10. 人に優しい。	3.1	3.2	3.1	3.1	3.8	3.6	3.2	3.4	3.5	3.5
11. 悩みを解決できる。	2.9	2.9	3.0	2.9	3.7	3.4	3.1	3.5	3.3	3.4
12. 自慢できるところがある。	2.6	2.7	2.7	2.7	3.1	3.4	3.0	3.0	3.0	3.1
13. ダメな人間だと思わない。	2.8	2.9	3.0	2.9	3.1	3.3	3.0	3.4	3.1	3.2
14. 役に立たない人間だと思わない。	2.9	3.0	2.9	2.9	3.6	3.4	3.1	3.4	3.3	3.4
15. 自分が好きである。	2.6	2.7	2.7	2.7	2.9	3.1	2.1	3.1	3.2	2.9
16. 意見を主張できる。	3.0	3.0	3.0	3.0	3.6	3.6	3.3	3.3	3.5	3.5
17. 人に感謝している。	3.5	3.4	3.4	3.4	3.9	3.6	3.7	3.4	3.8	3.7
18. 個性を大切にしたい。	3.3	3.3	3.3	3.3	4.0	3.6	3.3	3.4	3.7	3.6
19. 自分の判断を信じる。	3.0	3.0	3.1	3.1	3.8	3.3	3.3	3.4	3.5	3.5
20. 感謝されたことがある。	3.0	3.3	3.0	3.1	3.5	3.7	3.4	3.2	3.5	3.5
平均	3.0	3.0	3.0	3.0	3.6	3.4	3.2	3.3	3.4	3.3

太字の数値が上昇したもの
網掛けの数値が下降したもの